

ヴィクセン (1968)

VIXEN!

メディア 映画
ジャンル エロティック
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 71分
初公開日 1969/09/27
公開情報 MGM
リバイバル 1994/08 [シネマキャッツ]

【解説】

人造人間のような巨乳女が跳梁跋扈する怪作「ファスター・プシキヤット！キル！キル！」とはうって変わって、根アカな昼メロみtainな雰囲気淫乱妻の性白書の本作は、黒人差別が根強く残っていた60年代後半、かなり複雑な問題提起を結果的にはしでかしたケツタイなポルノの名品。政治の季節の挑発性と、ヒッピー文化のフラワーさ、「イージー・ライダー」のボーン・トゥ・ビー・ワイルドなテイスト……、もう、まんま、あの頃の象徴が全部ぶち込まれて、巨乳度はB' くらいのE・ギャヴィンのパイオツでもってシェイクされている。

カナダのパイロット兼旅行ガイドのトムの妻ビクセンは、夫には貞女と見せかけ、その実、男と見れば誰にでも舌舐めずりする大変なスキ者で、夫の案内する夫婦者を互いに内緒で一遍に手玉にとることぐらい朝飯前。実弟のジャットともついに出来てしまい、向かう所敵無しに見えたが、弟とはバイカー仲間の米軍脱走兵のナイルズは黒人で、人種偏見の固まりである彼女には天敵。顔を合わせばあからさまな侮蔑の言葉を投げるのだった。余りの屈辱にナイルズは、ある日、トムと彼女が駆る愛機を乗っ取ってキューバへ亡命しようと言う、アイルランド人の共産主義者オバニオンに同調するが……。

ブリティッシュ・コロムビアでのロケ撮影（カメラはメイヤー自身）が妙に美しく、レズ場面でのおサイケなタッチもたまらない。何より凄いのはエリカの痴呆寸前のエロい表情で、男は誰しもが骨抜き、という感じ。

【クレジット】

監督	ラス・メイヤー	Russ Meyer
製作	ラス・メイヤー	Russ Meyer
原作	ラス・メイヤー	Russ Meyer
	アンソニー・ジェームズ・ライアン	Anthony-James Ryan
脚本	ロバート・ルーデルソン	Robert Rudelson
撮影	ラス・メイヤー	Russ Meyer
音楽	イゴ・カンター	Igo Kantor
出演	エリカ・ギャヴィン	Erica Gavin
	ガス・ピルスバリー	Garth Pillsbury
	ハリソン・ページ	Harrison Page
	マイケル・オドネル	Michael O'Donnell
	ヴィンセント・ウォレス	
	ジョン・エヴァンス	Jon Evans
	ジョン・ファーロング	John Furlong